

平成 29 年度アジア大気汚染研究センター一般公開開催報告

2017（平成 29）年 7 月 28 日（金）に、アジア大気汚染研究センター（ACAP）は、隣接する新潟県保健環境科学研究所と同日に一般公開を開催しました。

“実験でたしかめよう！よごれた空気や雨はきれいなるの？”をテーマに、午前の部・午後の部合わせて 36 名（付き添いを含めて 61 名）の皆様にご来場いただきました。

当日のプログラムでは、大気汚染と ACAP の取り組みについて説明を受け、実験室で使用する器具（PM_{2.5}、雨量計、pH メーター、ろ過器）を見学。その後、酸性雨が緩衝や風化を経て中和される過程を勉強し、実際に土や炭酸カルシウム、pH 試験紙を用いて酸性水を中和する実験をしました。



大気が汚染される仕組みや、アジア各国と協力し大気汚染の改善に取り組む ACAP の紹介。



PM_{2.5} の大きさをボールやビー玉でクイズ。煙が入った筒に水を流し、濾すとフィルターが茶色に変化。



ろ過器や pH メーターの見学。



雨量計の見学。



白衣・手袋・眼鏡をつけ、酸性水をきれいにする実験をみんなで行いました。



最後に李副所長より参加証の授与。皆さん参加してくれてありがとうございました。